

国内主要農産物の放射性Cs低減対策技術に関する研究成果を国内外へ発信

成果の特徴

- 国内主要農産物の栽培・収穫・加工調理を通じた放射性Cs低減技術に関して、消費者を対象としたより理解しやすく簡潔な内容のパンフレットを作成しました。
- 国内外の消費者に対して情報発信することにより、農産物・食品と放射性物質に関する理解促進、および農産物や食品に対する不安軽減にも貢献します。



図1 放射性セシウム低減技術を盛り込んだパンフレットの表紙（左から3つが日本語版、右から3つが英語版）

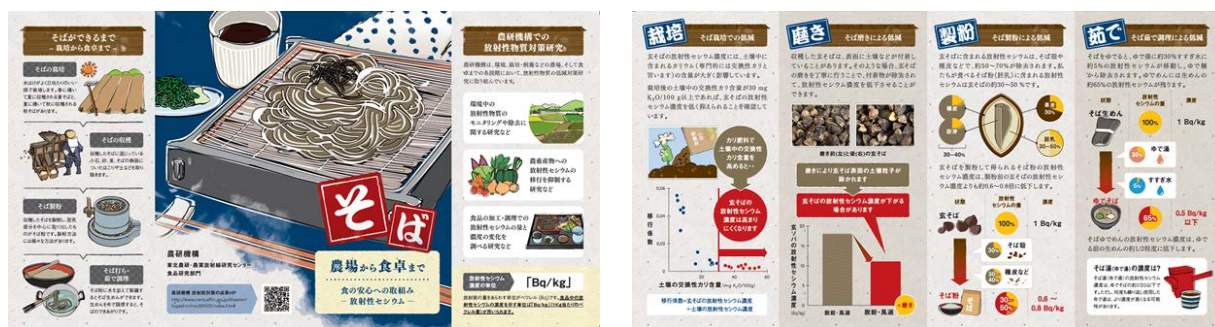


図2 そばパンフレット（左：外側、右：内側）

成果の活用

本研究結果は、食と農の科学館常設展示に配置されており、国内展示会、国内外学会・研究会、消費者に向けた勉強会等において配布しています。

パンフレットは食品研究部門放射性物質影響ワーキンググループのサイトよりダウンロードできます。（<http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/nfri/contents/nfriwg/riwg/index.html>）

関連論文

- ・ Kato et al. (2015) Soil Sci. Plant Nutr.,61(2): 179-190. ・ 平山ら (2018) 福島農総セ研報9: 1-10.
- ・ Kubo et al. (2015) Field Crops Res., 170(1): 40 - 46. ・ 八戸ら (2015) 食科工誌、62(1):1-26.